

2024年度後期「企画に対する学生評価」

科目全体の講義企画に対する学生評価

あなたの履修態度・理解度について	問1 事前に教科書や講義資料を読むなど予習をしましたか。
	問2 この科目はどのくらい理解できましたか？
	問3 授業の復習を毎回しましたか。
目的の達成	問4 科目の一般目標を達成することができましたか。
科目内容	問5 あなたにとって科目全体の難易度は適切でしたか。
総合評価	問6 この科目は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：医学英語 I A

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：91 回収数：91 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
4.2	4.0	3.0	4.0	3.9	4.0

＊評価に対するコメント

医学英語 I A 担当教員

今年度の前半は正確に英文を読むことを目指し、後半は正確にかつスピーディーに英文を読むことを目指しました。また、今までの学習ではあまり見かけることがなかったと思われる文法項目や実際の医療現場で使われる英語表現を毎回の授業でピックアップしました。授業では読解がメインでしたが、自らアウトプットできるようになるのが究極的なゴールです。将来的に何らかの形でこの授業の学習内容を役立ててくれたら嬉しく思います。

科目名：医学英語 I B

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：95 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.0	4.1	2.8	4.1	4.2	4.3

*評価に対するコメント

医学英語 I B 担当教員

The most important characteristics for a doctor are probably good medical knowledge and good character. But certainly facility in English or other foreign languages is a great advantage. I always enjoy walking into my classroom and seeing the faces of my students. I hope that students will always feel that they are happy to be there.

This year's first-year medical students performed far above average in the 2024-2025 school year. They were enthusiastic and worked extremely hard. The students were all very eager to learn and put a lot of effort into their studies. This year's students performed extremely well in their speaking tasks and worked together well in groups. I hope they can use the skills they have learned and make a valuable contribution to health care in Japan and around the world.

科目名：医用物理学

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：94 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.0	3.5	3.0	3.7	3.7	3.7

＊評価に対するコメント

医用物理学担当教員

総合評価（問 6）は 3.7 と近年の傾向（ 4.0 ± 0.2 で推移）に比べると若干下がりぎみだ。問 1（予習）と問 3（復習）の評価も例年に比べ 0.7 近く下がった。私が講義を担当するようになって 20 年近く経過するが、予・復習の評価が高い年は総合評価も高く、逆に今年度のように低い年は総合評価も低下する傾向にあるようだ。講義内容や進め方等に変更が無いことから、予・復習を含めた学生の積極的な講義への参加が、講義の総合評価を左右しているようだ。こればかりは教員だけの努力ではいかんともしがたい。

科目名：基礎化学

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：85 回収率：89.5%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.8	3.5	2.8	3.5	3.7	3.9

＊評価に対するコメント

基礎化学担当教員

基礎化学では医学科 2 年生で学ぶ生化学 I、生化学 II、薬理学、生理学実習・演習につながる内容や、臨床検査の測定原理と関係する内容を講義しています。講義内容の理解とするために、数回レポート課題を出し、定期試験は前期中間試験、前期期末試験、後期中間試験、後期期末試験の 4 回実施しました。また、10 月下旬～11 月上旬に医学科 1 年生のほぼ全員の方と面談しました（1 人 5～10 分間）。面談では前期の 2 回の試験の答案の採点状況の確認、前期成績の確認を中心としてお話ししました。現状確認をしていただき、今後の学習改善についてつなげていただけるよう努めました。基礎化学に限らず、一般教育の各科目の先生方はできるだけ分かりやすい講義資料を作成することを心掛けていますが、皆さんには講義資料だけで満足することなく、図書館などを利用して自発的に発展した内容を進んで学んでいただきたいと思います。医学科 2 年生になっても化学教室に質問に来ていただきたいと思います。

科目名：発生遺伝学

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：90 回収数：90 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.6	3.0	3.7	3.7	3.9

＊評価に対するコメント

発生遺伝学担当教員

医学科1年生の後期必修科目「発生遺伝学」では、これまでも一部の学生から講義内容が難しいというコメントをいただいております。当科目はヒトの発生学・生殖生物学・臨床遺伝学の専門的内容を含んでいるため、入学初年次の学生にとってはハードルがやや高いのは事実です。しかし一方で、当科目に先立って開講される「基礎生物学」や「基礎生物学実習」の講義・実習には、当科目の講義内容を理解するためのメンデル遺伝学、細胞遺伝学、配偶子形成、哺乳類の胚発生等の基礎的内容が含まれています。従いまして、当科目よりもむしろその土台となる「基礎生物学」と「基礎生物学実習」の講義日程・講義内容等の再検討を行っていくことが、学生の理解力アップにつながると考えております。もちろん学生の皆さんにおかれましては、今後も当科目の学修に対するより一層の努力を期待いたします。

科目名：データサイエンス

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：89 回収数：89 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.3	2.6	3.4	3.4	3.5

＊評価に対するコメント

データサイエンス担当教員

問1、問3が低いスコアでした。全ての科目に共通して言えることですが、予習、復習を行うことは重要です。データサイエンスを理解するには、講義資料に書いてあることを理解するだけでは足りません。実際に自身で問題を考え、課題を解決する体験をしてみると良いでしょう。なお、Excelの部分は一部の学生にとって退屈だったと思われるので、次年度は別の内容を扱う予定です。

科目名：医療概論Ⅰ

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：84 回収数：79 回収率：94.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.7	2.9	3.8	3.8	4.0

＊評価に対するコメント

医療概論Ⅰ担当教員

科目名：症候学

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：95 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.9	4.0	3.3	4.0	4.0	4.3

＊評価に対するコメント

症候学担当教員

満足度が 4.3 と高く、初年次に臨床教育を行うことの妥当性が支持されていると考える。また難易度も 4.0 の評価であり、初年次にも理解可能な授業が行われたと判断する。来年度も同様の形式で実施したい。

科目名：医学英語ⅡA

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：101 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.1	3.9	2.8	3.9	3.7	3.8

*評価に対するコメント

医学英語ⅡA担当教員

医学英語の読解力を培うとともに、医学英語論文の構成に基づく読解ができるようになることを意図していました。多くの学生は授業の意図を汲み、毎回の授業課題にしっかり取り組んでくれたという印象を持っていますが、問題があったことも事実だと思います。評価方法を抜本的に見直す予定です。優秀な学生が多い学年だと思います。将来に期待しています

科目名：医学英語ⅡB

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：93 回収率：92.1%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	4.3	3.0	4.2	4.3	4.5

＊評価に対するコメント

医学英語ⅡB 担当教員

The second-year students worked extremely hard during the 2024-2025 school year. Students showed a high command of English and their ability to communicate with me and with each other impressed me. In the future, doctors will need a strong command of the English language as international conferences and meetings increase. The second year students already have a good command of English, but I hope they will continue study hard and to improve their English abilities.

科目名：分子生物学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：100 回収数：86 回収率：86.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.4	3.0	3.6	3.5	3.7

＊評価に対するコメント

分子生物学担当教員

令和6年度より、教科書を「Essential 細胞生物学」に変更しました。学生の皆さんからのフィードバックは大変貴重であり、講義の改善に役立てていきます。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。講義でもお伝えしましたが、分子生物学の知識や技術は今後ますます身近なものとなり、さまざまな分野で応用されるようになります。そのため、体系的に知識を身につけるためにも、教科書を通読することを強くおすすめします。また、知識の習得に加え、各概念の背景にある歴史的な経緯にも目を向けることで、より深い理解が得られます。ぜひ自主的に調べ、学びを深めてください。

科目名：機能形態基礎医学Ⅱ

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：103 配付数：103 回収数：93 回収率：90.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.7	3.2	3.7	3.6	4.0

＊評価に対するコメント

機能形態基礎医学Ⅱ担当教員

6単位の大型科目ということで、中間試験、後期試験の2回の試験での評価形式が確立してきたように思います。機能形態基礎医学Ⅱは解剖と生理という基礎医学の要を学ぶため、とにかく出席してもらうことが重要です。今年の講義は出席率もよく、受講態度もよかったです。科目の満足度も4.0と、学生からの一定の評価は得られたのではないかと考えています。

科目名：微生物学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：101 配付数：94 回収数：75 回収率：79.8%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.6	2.7	3.4	3.7	3.9

＊評価に対するコメント

微生物学担当教員

「微生物学講義は、細菌やウイルスを中心とした微生物の性状とヒトにおける感染病態、さらには検査法や治療法など幅広い分野を対象としています。初めて学ぶことが多く最初は暗記に頼らざるを得ない部分がありますが、遺伝学や生化学、免疫学などをきちんと習得していれば理解も容易になります。講義をきちんと受講するのはもちろんのこと、予習や復習をするとさらに理解が深まりますので、学生の向上心に期待しております。」

科目名：寄生虫学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：103 配付数：103 回収数：87 回収率：84.5%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.7	3.0	3.6	3.5	3.9

＊評価に対するコメント

寄生虫学担当教員

寄生虫学は中間宿主、終宿主、媒介生物など多種にわたる生物の複雑な相互関係を学ばなければなりません。そのため、文章のみでは説明しづらい箇所は、イラストや実物の寄生虫標本などを多用し講義を行っています。また、動画も多用し、より深く理解してもらうように務めています。科目全体に対する満足度は3.9でした。今後も、学生の知識欲を高めるような講義にしたいと考えています。

科目名：薬理学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：56 回収率：55.4%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.5	3.0	3.5	3.3	4.0

＊評価に対するコメント

薬理学担当教員

薬物が体内ではたらく基本的なしくみを学ぶのが薬理学です。「覚えることが多くて大変」、「試験が難しい」という感想をいただいておりますが、そこは必ず通過しなくてはいけない点として、なんとか乗り越えて下さい。講義は、できる限り明快に、そして、楽しく聞いていただけるように、今後もアップデートを続けていきます。本授業評価には、受講した55%の皆さんから回答をいただき、科目の満足度は4.0（5点満点）と高い評価をいただきました。

科目名：基礎医学特論

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：72 回収率：71.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.7	3.0	3.9	3.8	4.0

＊評価に対するコメント

基礎医学特論担当教員

基礎医学特論は、基礎医学講座の研究内容についてそれぞれの講師に紹介していただくオムニバス形式の講義として実施しました。最新の研究内容の紹介であったため、理解が難しいのではないかと心配しましたが、科目全体にたいする満足度は4.0で、良好な評価を頂きました。研究内容を十分に理解することは困難だと思われませんが、いろんな分野の講義を聴くことで知的好奇心を刺激してくれれば、と思います。

科目名：選択必修コースⅠ「生体構造機能蛋白・病態解析コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：80 配付数：74 回収数：42 回収率：56.8%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	3.9	3.3	4.1	4.1	4.4

＊評価に対するコメント

選択必修コースⅠ「生体構造機能蛋白・病態解析コース」担当教員

選択必修Ⅰ「生体構造機能蛋白・病態解析コース」は、タンパク質科学の基礎から応用までを、複数の教員によるオムニバス形式で学ぶ構成となっています。本年度は80名が受講し、授業評価には42名が協力してくれました。評価の結果、本科目の満足度は4.4（5点満点）と高い評価をいただき、多くの皆さんに興味を持って聞いていただいたと思っています。疾患の原因の多くはタンパク質の異常であり、新たな知見も次々と得られています。今後もアップデートしながら、最新の知見を盛り込んだコースをめざします

科目名：選択必修コースⅠ「救急・プライマリケアコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：18 配付数：18 回収数：18 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.2	4.7	4.6	4.6	4.5	4.9

＊評価に対するコメント

選択必修コースⅠ「救急・プライマリケアコース」担当教員

事前予習は4.2だったが、満足度は4.9だった。今後の学習意欲が増したとの評価が高かった。本コースは、ハンズオンや実技を多く取り入れた内容であり、感想としても「実技が非常に楽しかった」「講義自体がとても面白かった」との評価があった。一方で、「毎回のレポートが負担である」「レポートがあることをシラバスに記載すべき」との意見をいただいた。今後も実践的な内容をアップデートし提供する予定です。

科目名：選択必修コースⅡ「臨床薬理学コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：77 配付数：75 回収数：48 回収率：64.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.2	3.5	4.1	4.2	4.3

＊評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「臨床薬理学コース」担当教員

選択必修Ⅱ「臨床薬理学コース」は、各臨床科の教員によるオムニバス形式で進めています。本年度は77名が受講し、授業評価には48名が協力してくれました。評価の結果、本科目の満足度は4.3（5点満点）と高い評価をいただき、多くの皆さんに興味を持って聞いていただいたと思っています。本科目の内容は臨床に即したものとなっており、早い段階で応用に触れる機会として活用していただきたいと思います。今後も、最新の知見を盛り込んだコースをめざしていきます

科目名：選択必修コースⅡ「糖尿病：内分泌U p ・ D a t e コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：21 配付数：21 回収数：11 回収率：52.4%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.4	3.9	3.8	4.3

＊評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「糖尿病：内分泌U p ・ D a t e コース」担当教員

糖尿病・内分泌に関連した最先端医学知識を、基礎医学～臨床医学にかけて横断的・多角的視点から学習するコースである。先進的な内容も含む講義内容であったため、内容の理解・難易度についての評価点がいずれも3.8点と課題が残るものの、全体の満足度は高く評価された。本コースが、受講者の将来の医学研究への礎となることを願う。

科目名：生体防御医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：97 回収数：44 回収率：45.4%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.7	3.4	3.8	3.8	4.0

＊評価に対するコメント

生体防御医学担当教員

本講義についての評価は97名中44名(45.4%)から頂き、科目全体の評価は平均4.0、多くの回答者から普通(3)～非常によい(5)という評価を得た。本科目では、免疫・感染防御・造血の生理的機能を理解し、その病的状態と治療法について学べるよう構成されている。本講義では広範囲の内容を扱っているため、受講者が興味を持ち自ら学ぶきっかけを持てるようさらに工夫していきたい。

科目名：精神・神経病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：97 回収数：73 回収率：75.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.8	3.3	3.7	3.6	4.0

＊評価に対するコメント

精神・神経病態医学担当教員

今年度より脳神経外科学講座が「精神・神経病態医学」のコーディネーターを務めさせて頂いております。精神・神経病態医学は神経系に関わる各種疾病の病態、診断そして治療法を学ぶために様々な各種関係講座や診療科が共同して開講しています。本講座の平均満足度が4.0と比較的高いことは指導教官の励みになります。講義をまとめた資料を提供してはどうかというご意見を頂きました。こういったご意見も取り入れながら、次年度はより良い講義が提供できるように工夫したく存じます。

科目名：感覚器病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：97 回収数：97 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.8	3.3	3.8	3.8	4.1

＊評価に対するコメント

感覚器病態医学担当教員

年度はアンケートの配布方法を工夫した結果、回収率 100%を達成しました。学生の率直な意見を得ることができたと思います。全体の満足度は5点満点中 4.1、理解度・達成度・講義内容の難易度はいずれも 3.8 と、さらなる向上の必要性を感じています。難易度は維持しつつ、学生の意欲を高められるよう、理解しやすい講義構成や達成感を得られる工夫を重ね、学生の学びを一層支援してまいります。

科目名：生殖発達医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：99 回収数：53 回収率：53.5%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.0	3.6	4.0	4.0	4.4

＊評価に対するコメント

生殖発達医学担当教員

本講義についての評価は99名中53名（53.5%）から頂き、科目全体の評価は平均4.0と昨年度の3.7を上回り、回答者の多数からよい評価を得た。本科目では、ヒトの初期発生から子どもの発育・発達というダイナミックなプロセスを学び、その病的状態を内科的あるいは外科的視点から理解できよう構成されている。講義では広範囲の内容を扱っているため、受講者が興味を持ち自ら学ぶきっかけを持てるようさらに工夫していきたい。

科目名：臨床放射線学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：89 回収数：56 回収率：62.9%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.8	4.1	3.5	4.1	4.1	4.3

＊評価に対するコメント

臨床放射線学担当教員

アンケート結果に関しては担当教員の間で情報を共有したいと思います。放射線科という内容の性質上、難しく感じる部分もあるかもしれませんが、今後もより良い講義を行いたいと考えています。何よりも今後の医師人生に有用な考え方を身に着けることが重要と考えています。実習でも頑張ってください。

科目名：臨床検査学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：100 配付数：97 回収数：94 回収率：96.9%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	4.0	3.5	4.1	4.2	4.3

＊評価に対するコメント

臨床検査学担当教員

理解度、目的の達成度、難易度、全体の満足度は4点以上と、前期(4年)と比較して高い評価となり、予習・復習についても3.5点前後とかなり改善しています。Manabaを用いて事前配布する資料を工夫し、小テストを併用して、重要な点をよりわかりやすくした効果が出ていると考えます。臨床検査医学は多くの分野に関わる科目にて、さらに充実した授業を目指します。

科目名：英語 I A

(看護学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
4.2	4.0	2.5	3.9	3.9	4.0

＊評価に対するコメント

英語 I A 担当教員

英語力に個人差があるばかりでなく、英語を苦手と感じている学生もかなりの割合を占めていたため、少し不安でした。実際には、しっかり課題に取り組み、十分な成果を示してくれたと感じています。確認テストの正答率も高いという点が強く印象として残っています。全体的な量を調節したいと考えております。

科目名：英語 I B

(看護学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.8	4.2	2.3	4.2	4.1	4.4

＊評価に対するコメント

英語 I B 担当教員

I was very impressed with the first-year nursing students in the 2024-2025 school year. The students this year were very enthusiastic in their attitudes towards learning English. All the students performed very well, completing their assignments on time and many students did some exceptional work. I hope students will be able to use the English they have learned for both work and travel. English will continue to be indispensable in all areas of healthcare and I hope students will continue to study and use English.

科目名：形態機能学

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.7	3.0	3.8	3.7	3.9

＊評価に対するコメント

形態機能学担当教員

形態機能学は満足度が3.9と久しぶりに4.0を下回る結果となった。講義資料や授業内容、試験の難易度等について特に変更はしていないので原因は不明である。ただし、本年度の試験成績はここ数年の中では低い傾向にあり、学生の授業内容についての理解度が低い可能性があるため、理解度の低下が満足度の低下に関与した可能性は否定できない。これらの点を考慮して、次年度は理解度をあげる授業の必要性を感じているところである。

科目名：生化学

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.9	2.9	3.9	3.9	4.2

＊評価に対するコメント

生化学担当教員

医療の進歩により、難治性疾患の病態解明と共に治療法の進歩がめざましく、特に免疫抑制薬や分子標的薬など新しい治療薬も臨床の現場で使用されている。したがって、医療に携わる者にとって、それぞれの立場で生体活動の分子レベルでの理解は、より重要性が増している。看護学部での生化学講義では、生命現象の分子的な側面からの理解と共に、疾患病態を分子レベルで統合的に理解することの重要性を強調し、テーマ・ポイントをしばって講義を行った。学生からの満足度や難易度が4を超え、感想でも分かり易かったとの記載が複数あり、ある程度の講義の目標は達成されていると思われる。引き続き、その後の様々な講義や実践に結び付けていけるような講義の充実を図っていきたい。

科目名：病理学総論

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.6	2.9	3.6	3.6	3.9

＊評価に対するコメント

病理学総論担当教員

病理学総論は今年度よりコーディネータが変更になった他、担当教員も大きく変更となった。そのため授業内容など不十分であったことは否めないことであり、満足度も3.9とやや低い結果となった。また講義時間の変更などの周知が一部で徹底できなかったことも、授業進行上で次年度への課題となった。次年度はこれを踏まえて講義資料等をさらに発展させ、授業進行もよりスムーズに行えるように努力していきたい。

科目名：看護学概論

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：56 回収数：52 回収率：92.9%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.1	3.3	4.0	4.1	4.3

＊評価に対するコメント

看護学概論担当教員

一般目標の達成度が4.0、全体満足度が4.3であり、学生の皆さんからはよい評価をいただいたと思います。予習は4.1であったのに対し、復習は3.3であり、復習をしようという動機づけは十分ではなかったと考えます。自由記載では課題の提出時刻を17:00までに、という意見がありましたが、意図的に8:40にしています。2年生になっても直前に慌てないように、計画的に課題に取り組むことを期待しています。

科目名：人間生涯発達論

(看護学科第1学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：48 回収率：82.8%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	4.0	2.9	3.9	3.7	3.9

＊評価に対するコメント

人間生涯発達論担当教員

学生からの評価は、問5難易度が3.7、問6満足は3.9であり、概ね学生に適応した授業になったと考えます。しかし、問1予習は3.3、問3復習は2.9と低く、学生が自己学習していない現状がありました。本科目は15コマであり、人間の生涯を深く理解するには学生の自己学習が欠かせません。また、今後の学生生活を考えると自己学習の習慣を身につけることも必要です。学生の自己学習につながるような講義企画が今後の課題であると考えます。

科目名：地域看護学

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	4.0	3.0	4.0	4.0	4.1

＊評価に対するコメント

地域看護学担当教員

1年次に地域における看護職へのインタビューを通して、地域看護のイメージ化を大事にしています。地域看護の場は、病院の医療連携室からみた入退院支援の実際、療養者・家族と関わる訪問看護、保健所や市町村・地域包括支援センター等の保健師活動、学校保健、産業保健と多岐にわたり、看護職としての姿勢などの学びが得られています。報告会で学びを共有して視野が広がりましたね。お疲れ様でした。実施方法として、様々な場所に行くため、移動や費用面の負担を考慮し、遠方はオンラインを取り入れました。また、今年度から学生の希望調査で配置を調整したため、より関心ある分野のお話が聞けたのではないのでしょうか。色々なことに興味を持ち、楽しく学んでいただけたらと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）

（看護学科第1学年通年／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：54 回収率：91.5%

＊評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	4.1	2.8	4.2	4.2	4.2

＊評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）担当教員

地域包括ケアに関する用語についてグループで調べたことを発表した後に、地域で活動している講師の講演を聴講し、理解を深めた。各地区の地域特性把握に出向き検証した成果を発表できた。また、担当地区の把握に加え、他の地区や2年生との合同授業を含め理解を深めることができた。さらに、地域活動に出向き、学生が貢献できることや看護職に向けて主体的に学習できた。

科目名：病理学各論

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.7	3.3	3.8	3.9	4.0

＊評価に対するコメント

病理学各論担当教員

病理学各論は今年度よりコーディネーターおよび講義担当教員が変更となり、全くの新しい体制での実施となった。それにもかかわらず授業評価の満足度で4.0となったのは、前任者の残してくれた講義資料等のおかげと学生諸君の寛大さのおかげである。次年度は講義内容をより発展させもっとわかりやすく病理学に興味関心を持ってもらえるような授業を行えるように努力していきたい。

科目名：薬理学

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.1	3.1	3.4	3.1	3.5

＊評価に対するコメント

薬理学担当教員

学生評価を見ると、科目全体の難易度が適切ではなかったと答えた学生が多かった。講義内容については毎年見直しているが、理解しやすいようにさらに改善していきたいと思う。薬理学は、薬の名前が多く出てきてとっつきにくいかもしれないが、少しでもいいから予習をすると理解がしやすくなる。さらに、講義後の復習は知識の定着に非常に有効である。教科書の各章末にあるworkを活用して復習の習慣をつけて欲しい。

科目名：臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：59 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

＊評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.8	3.3	3.8	3.8	4.1

＊評価に対するコメント

臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）担当教員

臨床病態治療学Ⅱは満足度が4.1であり、本年度はコーディネーターが変更になった点を考慮しても満足のいく結果となった。大きなトラブルもなく終了できたことは授業を担当した各教員の努力の結果であり感謝している。次年度はまたコーディネーターが変更になるが、科目としての授業方針や内容に大きな変更はないので、引き続き同水準の授業が実施されることを期待したい。

科目名：保健統計

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.1	2.8	3.4	3.2	3.6

＊評価に対するコメント

保健統計担当教員

保健統計は、疫学と並んで看護研究に不可欠な科目で、疾病に関する量的な事象を評価するために必要な知識を学びます。本学では統計学の講義も行われていますが、保健統計では統計調査など統計学以外の内容も幅広く学びます。他の講義でも関連する内容は多いので、これらを通して必要な知識と技術を身につけてください。

科目名：公衆衛生論

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：58 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.3	3.0	3.2	3.3	3.2

＊評価に対するコメント

公衆衛生論担当教員

公衆衛生論については、試験問題に対する意見が多く寄せられました。公衆衛生は範囲が広く、国家試験の過去問だけでは十分ではありません。得点が伸びなかった学生は、教科書や講義資料の復習が不足していたかもしれません。今後、臨床系の講義を受けることが増える中で、公衆衛生学と重なる内容も多いので、その都度知識を積み重ねていってほしいと思います。

科目名：臨床心理学

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.3	3.9	4.0	4.0

＊評価に対するコメント

臨床心理学担当教員

前年度と比べ予習と目標達成の項目で評価が向上しており、学生のみなさんが積極的に学習に取り組んだ結果が表れているのではないかと思います。それは授業中の学習に対する姿勢やレポート等の課題への取り組みからも感じられました。学生のみなさんの学びに対する意欲を大事にしながら、臨床心理学へより一層興味をもっていただき、将来の看護業務に活かせる授業になるよう努めていきます。

科目名：看護フィジカルアセスメント

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：47 回収率：81.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.2	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0

＊評価に対するコメント

看護フィジカルアセスメント担当教員

科目の満足度は4.0の評価（回収率81.0%）であり、科目の企画は概ね良好であったと考えます。看護におけるフィジカルアセスメントは生命活動と人間らしい生活行動にどのような影響を与えているかを看護判断する看護特有の活動です。この科目の理解が3.9、一般目標の達成が4.0という結果でしたので、これらの評価が維持・向上できるよう努力します。

科目名：看護倫理

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：57 回収数：53 回収率：93.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	3.9	3.6	4.0	4.1	4.1

＊評価に対するコメント

看護倫理担当教員

理解度 3.9、目標達成度 4.0、全体満足度 4.1 であり、及第点であると判断します。予習 3.7、復習 3.6 であり、課題の提示等で学習しやすさをはかる工夫を講じたいと思います。看護倫理は知識を得るだけではなく、さらに考える姿勢や気づく感受性の重要性を認識し、今後の看護実践に活かすことが大切です。3年生になっても考え続けてください。

科目名：地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）

（看護学科第2学年通年／必修）

履修者数：59 配付数：57 回収数：51 回収率：89.5%

＊評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	4.2	3.4	4.0	4.1	4.2

＊評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）担当教員

この科目は、3年間じわじわと学びを積み上げていく地域包括ケア論の一部です。2年生では、学生が住民の方々のもとへ出向き、生活の場や地域の集いの雰囲気を感じ、環境も捉える大切さを学ぶことができたと思います。地域活動への参加は日程調整の難しさもある中、皆さん、頑張って参加していたと思います。4年間を通して様々な場へ足を運び、地域を身近に感じてほしいと考えています。自分なりに年間スケジュールを立てて学んでいただけたらと思います。3年生ではこれまでの学びを学生主体の健康セミナー企画・実践につなげてください。

科目名：高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：59 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

＊評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	3.9	3.7	3.9	4.0	4.0

＊評価に対するコメント

高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）担当教員

科目の全体としての満足度の平均4.0と概ね良好であったが、事前の予習、復習に関しては改善の余地がある。講義と連動させ、より興味関心をもって講義に参加できるような予習復習の機会を作れるよう工夫していきたい。

科目名：小児看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：57 回収率：96.6%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.2	3.9	4.0	4.1

＊評価に対するコメント

小児看護学担当教員

学生からの評価として、問5科目全体の難易度は4.0、問6科目の全体に対する満足は4.1であり、概ね学生に適応した授業になったと考えます。しかし、問1予習は3.3、問3復習は3.2と低く、学生が自己学習をしていない状況がありました。自己学習が充実すると、さらに小児看護学への興味・関心、理解が増すと推測されますので、今後の講義企画の課題にしたいと思います。

科目名：母性看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：57 回収率：96.6%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.9	3.3	3.9	3.9	4.1

＊評価に対するコメント

母性看護学担当教員

回収数 57 名、無効回答数は 9 部で昨年度の無効数と比較し半減しており学生からの評価は適当数確保できたと考える。“全体として満足できる”が 4.1 で昨年 4.3 と比較し、若干ポイントは下がったものの 4 点台を確保できたことから、本科目全体として良い評価を得られたと考える。課題は、予習・復習に費やす時間の確保が 3.2、3.3 点と他の項目のポイントより低いことから、次年度は予習・復習を促せるような工夫をしていきたいと考える。

科目名：精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）

（看護学科第2学年後期／必修）

履修者数：59 配付数：53 回収数：48 回収率：90.6%

＊評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.2	3.9	3.9	4.0

＊評価に対するコメント

精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）担当教員

全体評価から、授業内容や学習目標に関して一定程度の達成はなされたものと考えております。毎年、授業内容の復習の機会として事例課題を示しています。活用してくれる学生は非常に積極的に取り組んでいます。なかなか復習だけでは学習の深まりが期待できないのが実情です。来年度は授業の中で事例を中心に展開し、精神看護のイメージをもつことができる授業内容を検討していきます。

科目名：疫学

(看護学科第3学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：18 回収率：30.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.2	2.8	3.2	3.2	3.5

＊評価に対するコメント

疫学担当教員

疫学の講義はオムニバス形式で行われるため、覚える内容が多く、重複する内容もありますが、予習・復習をしないと試験で苦労します。疫学研究法は看護研究や卒業研究にも必要な知識が含まれているだけでなく、スクリーニングや様々な疫学調査についてもしっかり学んでおくと、他の講義でも役立ちます。保健師コースを選んだ学生は、国家試験では必出なので、特に力を入れて勉強を続けてください。

科目名：看護研究

(看護学科第3学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：21 回収率：35.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.4	3.1	3.5	3.3	0.0

＊評価に対するコメント

看護研究担当教員

看護研究の目標は、卒業研究で行う研究計画の作成です。前半では、看護研究に必要な基礎知識を学びますが、特に文献検索は研究を正しく進めるために重要な技術です。これを十分に学べていない学生も見受けられるので、次年度の卒業研究に向けてしっかりと準備を進め、卒業研究で自分の研究を完成させてほしいと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅳ

(看護学科第4学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：32 回収率：54.2%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	2.9	3.9	4.0	4.1

＊評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅳ担当教員

今年度は初の試みとして多職種連携演習としてロールプレイを行いました。授業評価には特に記載がありませんでしたが、講義後の感想は肯定的なものが多く、次年度に継続して実施予定です。問6（満足度）4.1とよい評価であり、4年間のまとめとして地域包括ケアについて学べたと考えています。

科目名：卒業研究

(看護学科第4学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：31 回収率：52.5%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.7	3.4	3.7	3.4	0.0

＊評価に対するコメント

卒業研究担当教員

卒業研究は、看護研究で作成した研究計画を実際の研究活動として実施する場です。調査研究に取り組んだ学生は、その難しさを実感したと思いますが、研究活動を通じて得られた経験は、今後の看護研究に役立つでしょう。研究は何度も行うことで理解が深まるので、今後の活躍を期待しています。

科目名：看護教育論

(看護学科第4学年通年／選択必修)

履修者数：15 配付数：15 回収数：15 回収率：100.0%

＊評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.1	4.0	2.6	4.0	4.3	4.3

＊評価に対するコメント

看護教育論担当教員

この授業は4年生の選択必修科目ということもあり、その年度により履修者数が大きく変わります。今年度は14名であり、アクティブラーニング中心の授業展開により積極的に学習をしてきており、これが全体評価にも反映されたと考えます。一方で、今年度1名の方が早々に履修の辞退を希望してきました。来年度以降は、看護教育論について事前に情報提供する機会や個別質問等の時間をつくる必要性も感じているところです。